

日本のポップス & フォーク音楽史 1955年～1976年

©公募ガイド社

	1955年～60年代前半	1965年(昭和40年)	1966年(昭和41年)	
海外	<ul style="list-style-type: none"> エルヴィスプレスリー キングストン・トリオ ベンチャーズ ポールアンカ ブラザーズ・フォー デル・シャノン プラターズ パットブーン コニーフランシス ニールセダカ ビーチボーイズ ローリングストーンズ <p>●ポプ・ディラン ●P P M ビートルズデビュー 1962年 ●ジョーン・バエズ ●アニマルズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゾンビーズ ライチャス・ブラザーズ シルヴィ・バルタン 	<ul style="list-style-type: none"> エリック・クラプトン(クリーム) ホリーズ ママス&パパス 	
日本のポップス&フォーク音楽史	<p>ロカビリーブーム 1958年～</p> <ul style="list-style-type: none"> 平尾昌晃、ミッキー・カーチス、山下敬二郎たちのライブ、日劇ウェスタンカーニバルに熱狂的なファンが集う。 <p>●日本の近代的プロダクションを確立した渡辺プロダクション設立。(1955年)</p> <p>渡辺プロダクション発掘第1号のザ・ビーナッツがデビュー (1959年)</p> <p>坂本九の『上を向いて歩こう』がアメリカでも大ヒット曲となる。</p> <p>カバーポップス大流行 1961年～</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アメリカンポップスに日本語の詞をつけたカバー曲が流行。飯田久彦、尾藤イサオ、弘田三枝子、中尾ミエ、伊東ゆかり、田辺靖夫、久重佑三子など数多くの歌手がカバー曲を歌った。 <p>カレッジフォーク誕生 1962年～</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マイク真木、小室等、黒沢久雄らが歌米のフォークソングの影響を受けそれぞれグループを結成。 <p>歌謡ポップス 1962年～</p> <ul style="list-style-type: none"> ●橋幸夫、舟木一夫、西郷輝彦の御三家プラス三田明が元祖アイドル。 	<p>エレキブーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ベンチャーズやビートルズのエレキサウンドに多くのアーティストが影響をうけた。フジTV「勝ち抜きエレキ合戦」からザ・サベージなどのバンドが表舞台に。 <p>関西フォーク誕生</p> <ul style="list-style-type: none"> ●米国反戦ソングを唄うなどメッセージ色の強いフォークが関西から発信された。代表に高石友也など。 	<p>GS(グループサウンズ)ブームの到来</p> <ul style="list-style-type: none"> ●初期のGSにザ・スパイダース、ブルーコメッツ、ザ・ワイルドワンズなどがメジャーデビュー <p>和製ポップスとモダンフォーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●加山雄三、荒木一郎、マイク真木などが活躍。 <p>TVドラマ「若者たち」「青春とは何だ」などの青春モノが流行に。主題歌もヒットする。</p>	
世相	<ul style="list-style-type: none"> ●東京タワー完成(TVの時代) 1958年 ●ジャズ喫茶ブーム ●レコード大賞設立 1959年 ●日活黄金時代 石原裕次郎、小林旭、赤木圭一郎 	<ul style="list-style-type: none"> ●ツイストブーム ●ダッコちゃんブーム ●プロレスラー「力道山」人気 ●インスタントラーメン登場 1960年 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京オリンピック開催 ●東海道新幹線開通 1964年 ●堀江謙一太平洋ヨット横断 1962年 	<ul style="list-style-type: none"> ●アイビー族、みゆき族 ●ベトナム戦争拡大(北爆) ●映画「サウンド・オブ・ミュージック」公開 <p>●ビートルズ来日</p> <p>三種の神器 カラーテレビ、クーラー、車</p> <p>円谷プロ ウルトラマン登場</p>

1967年(昭和42年)	1968年(昭和43年)	1969年(昭和44年)	1970年(昭和45年)	1971年(昭和46年)
<ul style="list-style-type: none"> モンキーズ プロコロ・ハルム ジェファーソン・エアプレイン 	<ul style="list-style-type: none"> サイモン&ガーファンクル ビー・ジーズ ドアーズ 	<p>ウッドストックフェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> C. C. R ジミ・ヘンドリックス ジャニス・ジョップリン 	<p>ビートルズ解散</p> <ul style="list-style-type: none"> カーペンターズ ショッキング・ブルー レッド・ツェッペリン 	<p>映画音楽「ある愛の詩」ヒット</p> <ul style="list-style-type: none"> スリードッグナイト シカゴ ミッシェル・ボルナレフ
<p>GS全盛期</p> <p>●ザ・タイガース、ザ・カーナビーツ、ザ・ジャガーズ、ザ・ゴールデンカップス、ザ・テンプターズなどが次々とデビュー。当時、400組以上のGSが誕生したと言われている。</p>				
<p>ピンク&キラーズ 大ブレイク</p>		<p>フォーク歌謡</p> <ul style="list-style-type: none"> 千賀かほる、新谷のり子、ピリーバンバン、ベッツィ&クリスなど。 		<p>個性派、実力派アーティストが 続々誕生</p> <ul style="list-style-type: none"> 吉田拓郎、小椋佳、オフコース、はっぴいえんど、赤い鳥、RCサクセションなどがデビュー。小室等が六文銭を結成、加藤登紀子「知床旅情」がヒット。
<p>カレッジフォーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ザ・リガニーズ、フォーセイツなどが活躍。 	<p>アングラブーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 寺山修司主催「天井桟敷」の役者、カルメンマキや浅川マキが歌手としてデビュー。 	<p>シューベルツ「風」がヒット</p>		<p>ビューティフル・フォーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ガロ、トワ・エ・モア、チェリッシュ小坂忠など。
<p>ザ・フォーク・クルセダーズによるコミカルなフォークソング「帰ってきたヨッパライ」がミリオンセラーに</p>		<p>ジャニーズのアイドルグループ、フォーリーブスがフィーバー</p>		<p>オーディション番組</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本TV「スター誕生」がスタート。山口百恵、ピンクレディーなど数多くのアイドルが生まれた。
<p>森山良子デビュー 「この広い野原いっぱい」ヒット</p>		<p>アングラフォーク</p> <ul style="list-style-type: none"> アングラフォークの拠点としてインディーズレーベルの元祖URCが発足。高田渡、五つの赤い風船、遠藤賢司、友部正人、なぎら健一などが所属した。 	<p>中津川フォークジャンボリー開催</p>	
<p>プロテストソング</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡村信康の台頭でプロテストソングがフォークの主流に。 		<p>新宿西口のフォークゲリラ</p> <ul style="list-style-type: none"> 新宿西口に若者が集まり反戦ソングを合唱。機動隊が出動する騒ぎに。 		<p>アイドル歌手の時代</p> <ul style="list-style-type: none"> 南沙織、天地真理、小柳ルミ子などのアイドル歌手がデビュー。
<p>ツイッギー来日 ミニスカートがブームに</p> <ul style="list-style-type: none"> タカラ「リカちゃん人形」発売 「オールナイトニッポン」放送開始 ヒッピー族、長髪ブーム 	<ul style="list-style-type: none"> 三億円強奪事件 川端康成ノーベル文学賞 学生運動激化 	<ul style="list-style-type: none"> アポロ11号月面着陸 東名高速道路開通 TBS「8時だよ全員集合」放送開始 	<ul style="list-style-type: none"> 大阪万博開催 歩行者天国 「よど号」ハイジャック 	<ul style="list-style-type: none"> ドルショック マクドナルド銀座に1号店 アンノン族現象

1972年(昭和47年)	1973年(昭和48年)	1974年(昭和49年)	1975年(昭和50年)	1976年(昭和51年)
<ul style="list-style-type: none"> • ニール・ヤング • T・REX • ギルバート・オサリヴァン 	<ul style="list-style-type: none"> • アルバート・ハモンド • ポールマッカートニー&ウィングス • ロバータ・フラック 	<ul style="list-style-type: none"> • スリーディグリーズ • スージー・クアトロ • ジョン・デンバー 	<ul style="list-style-type: none"> • ベイシティーローラーズ • クイーン • オリヴィア・ニュートンジョン 	<ul style="list-style-type: none"> • イーグルス • ジャニス・イアン • スタイルスティックス
<p>ヤマハ・ポップコン・スタート</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新人ミュージシャン発掘コンテスト「ポップコン」が開催される。のちに中島みゆき、チャゲ&飛鳥など数多くのアーティストを輩出する。 <p>伝説のロックバンド「キャロル」がデビュー。解散後、矢沢永吉がソロで活躍。</p> <p>フォーク界では、アリス、グレープがデビュー。グループ解散後、アリスの谷村新司、堀内孝雄やグレープのさだまさしがソロで活躍。</p> <p>歌謡界では郷ひろみ、西城秀樹、野口五郎の新御三家と山口百恵、森昌子、桜田淳子、アグネスチャン、浅田美代子、麻丘めぐみなどアイドル歌手が続出。</p>	<p>ニューミュージックの登場</p> <ul style="list-style-type: none"> • 荒井由実(ユーミン)、五輪真弓の出現によりフォークに代わってニューミュージックという新語が生まれる。 <p>四畳半フォークブーム</p> <ul style="list-style-type: none"> • 上村一夫の劇画「同棲時代」がブームに。フォーク界でもかぐや姫「神田川」など四畳半フォークが流行。 <p>井上陽水「氷の世界」が初のアルバムミリオンセラーに</p>	<p>アリスの「今はもう誰も」グレープ「精霊流し」がヒット</p> <p>吉田拓郎作曲「襟裳岬」を森進一が歌いレコード大賞を獲得。</p> <p>女性アイドルグループにキャンディーズとピンクレディ出現。</p>	<p>つま恋ライブ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 吉田拓郎、かぐや姫などが出演したオールナイトコンサートに7万人の観客が熱狂した伝説のライブ。 <p>フォーライフレコード発足</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小室等、吉田拓郎、井上陽水、泉谷しげるの4人が中心となり、レコード会社を設立。 <p>ポップコン出身の中島みゆきがデビュー</p> <p>小椋佳作詞・作曲の「シクラメンのかほり」を布施明が歌いレコード大賞に。</p>	<p>ヤマハ・イーストウエストコンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> • のちにサザンオールスターズを輩出する。 <p>因幡晃、河島英五、大塚博堂が活躍。</p> <p>子門真人「およげ! たいやきくん」がシングル400枚を越える記録のヒット。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 連合赤軍浅間山荘事件 • 札幌冬季オリンピック開催 • 上野動物園でパンダ公開 	<ul style="list-style-type: none"> • 石油ショック • ベトナム和平協定調印 • 江崎玲於奈ノーベル物理学賞 	<ul style="list-style-type: none"> • コンビニ1号店オープン • 「宇宙戦艦ヤマト」第1作放映 • 長嶋茂雄現役引退 	<ul style="list-style-type: none"> • ディスコブーム • 沖縄海洋博 • ベトナム戦争終結 	<ul style="list-style-type: none"> • ロッキード事件 • サンリオ「キティちゃん」誕生 • 村上龍「限りなく透明に近いブルー」が芥川賞